



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社 ゴールドウィン

上場取引所 東

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,759	8.7	1,401	105.1	1,536	76.8	1,065	79.9
29年3月期第2四半期	26,469	1.7	683	59.3	869	13.8	591	103.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,687百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 1,120百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	93.30	
29年3月期第2四半期	51.53	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	68,721	31,547	45.9
29年3月期	60,572	31,918	52.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 31,519百万円 29年3月期 31,880百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		65.00	65.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,300	8.9	5,000	27.9	5,600	22.3	3,900	13.9	341.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	11,912,043 株	29年3月期	11,912,043 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	616,950 株	29年3月期	446,192 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,416,022 株	29年3月期2Q	11,488,161 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の各種政策による下支えもあって、緩やかな景気回復基調が続いております。消費市場においても、雇用環境改善等により個人消費が若干持ち直しつつあること、また、訪日外国人増加によるインバウンド市場の盛り上がりやeコマース市場の急速な拡大等の追い風もあって、やや回復の兆しが出て来ております。一方で引き続き緊迫状況が続く朝鮮半島情勢等、国内外の政治経済状況の変動がわが国経済に及ぼす影響に留意する必要があり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下で、当社グループ(当社、連結子会社および持分法適用会社)は当連結会計年度を第2年度とする平成33年3月期(第70期)までの中期経営計画を策定し、その遂行に全社を挙げて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高については、「ザ・ノース・フェイス」「ヘリー・ハンセン」等アウトドアブランドの春夏商品の消化が直営店を中心に極めて好調に推移したことに加え、秋冬物の早期投入による先行販売も順調に進んでいることもあって大幅増収となりました。また、アスレチックブランドについても、「ダンスキン」「カンタベリー・オブ・ニュージーランド」等が増収となり、合計売上としては前年同期比2,290百万円の増収を確保することが出来ました。

営業損益については、増収による粗利益増に加え、直営店やウェブを中心に自主管理型売上が拡大したこと、発注流動管理強化により販売ロス削減やプロパー販売比率改善が進んだこと等により、粗利益率が2.3ポイント改善し、粗利益が大幅増となりました。直営店出店に伴う関連経費等の販売管理費も増加しましたが、粗利益増がこれら販管費増を大きく上回った結果、前年同期比718百万円の増益となりました。

経常損益については、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの持分法投資利益が前年同期比43百万円減少しましたが、単体事業での営業増益に加え連結子会社の業績が総じて堅調に推移したことにより、前年同期比667百万円の増益を確保することが出来ました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、法人所得税が増加しましたが上記増益に伴い前年同期比473百万円の増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高28,759百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益1,401百万円(前年同期比105.1%増)、経常利益1,536百万円(前年同期比76.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,065百万円(前年同期比79.9%増)となりました。

当社グループの売上高は、取扱商品の特性上、下半期に販売が偏る傾向があるため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高との間に大きな相違があります。

なお、記載金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は68,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,149百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加4,919百万円、商品及び製品の増加1,776百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ8,520百万円増加し、37,174百万円となりました。これは主に、借入金の増加8,697百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ370百万円減少し、31,547百万円となりました。その結果、自己資本比率は45.9%となっております。

#### (キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は12,340百万円となり、前連結会計年度末より4,926百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは826百万円(前年同期比734百万円の支出減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,508百万円があったものの、たな卸資産の増加1,742百万円や売上債権の増加506百万円等があったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは536百万円(前年同期は842百万円の獲得)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは6,284百万円(前年同期比3,721百万円の収入増)となりました。これは主に、短期および長期借入れによる収入によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想および配当予想から修正しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,735	13,654
受取手形及び売掛金	9,330	9,783
電子記録債権	1,322	1,375
商品及び製品	10,318	12,094
仕掛品	115	113
原材料及び貯蔵品	651	620
その他	1,529	1,821
貸倒引当金	△5	△33
流動資産合計	31,998	39,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,422	1,398
土地	671	671
その他(純額)	1,393	1,463
有形固定資産合計	3,487	3,533
無形固定資産		
商標権	2,931	2,799
その他	1,032	1,032
無形固定資産合計	3,964	3,831
投資その他の資産		
投資有価証券	17,824	18,268
差入保証金	1,844	1,890
その他	1,752	2,039
貸倒引当金	△299	△272
投資その他の資産合計	21,122	21,926
固定資産合計	28,573	29,292
資産合計	60,572	68,721

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,077	7,091
電子記録債務	7,711	5,935
短期借入金	528	4,988
1年内返済予定の長期借入金	1,694	2,666
未払法人税等	457	347
賞与引当金	872	841
返品調整引当金	557	274
その他	3,811	3,953
流動負債合計	20,710	26,099
固定負債		
長期借入金	4,887	8,153
退職給付に係る負債	288	285
株式給付引当金	273	337
その他	2,494	2,298
固定負債合計	7,943	11,075
負債合計	28,654	37,174
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	4,066	4,066
利益剰余金	23,453	23,745
自己株式	△1,514	△2,783
株主資本合計	33,085	32,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	801
繰延ヘッジ損益	△0	△4
為替換算調整勘定	331	470
退職給付に係る調整累計額	△2,079	△1,856
その他の包括利益累計額合計	△1,205	△588
非支配株主持分	37	27
純資産合計	31,918	31,547
負債純資産合計	60,572	68,721

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	26,469	28,759
売上原価	14,441	15,027
売上総利益	12,028	13,732
返品調整引当金戻入額	327	282
差引売上総利益	12,355	14,015
販売費及び一般管理費	11,671	12,613
営業利益	683	1,401
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	37	38
持分法による投資利益	186	146
その他	47	33
営業外収益合計	277	223
営業外費用		
支払利息	48	49
その他	43	39
営業外費用合計	91	88
経常利益	869	1,536
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産処分損	1	5
店舗閉鎖損失	4	22
投資有価証券評価損	1	—
その他	2	0
特別損失合計	10	28
税金等調整前四半期純利益	860	1,508
法人税、住民税及び事業税	242	405
法人税等調整額	19	31
法人税等合計	262	437
四半期純利益	598	1,071
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	591	1,065

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	598	1,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	258
繰延ヘッジ損益	8	△3
為替換算調整勘定	△253	△1
退職給付に係る調整額	221	222
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,659	140
その他の包括利益合計	△1,718	616
四半期包括利益	△1,120	1,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,126	1,681
非支配株主に係る四半期包括利益	6	6



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	860	1,508
減価償却費	529	692
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△138	△206
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△165	△2
のれん償却額	24	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	1
受取利息及び受取配当金	△43	△43
支払利息	48	49
持分法による投資損益(△は益)	△186	△146
固定資産処分損益(△は益)	0	4
売上債権の増減額(△は増加)	306	△506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,023	△1,742
仕入債務の増減額(△は減少)	△420	237
未払消費税等の増減額(△は減少)	△278	△224
その他	406	16
小計	△1,080	△361
利息及び配当金の受取額	43	43
利息の支払額	△50	△54
法人税等の支払額	△474	△454
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,561	△826
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△234	△132
定期預金の払戻による収入	310	124
有形及び無形固定資産の取得による支出	△197	△409
投資有価証券の取得による支出	△13	△4
投資有価証券の売却による収入	14	6
差入保証金の差入による支出	△31	△83
差入保証金の回収による収入	821	4
事業譲渡による収入	206	—
その他	△34	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	842	△536
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,200	4,459
長期借入れによる収入	150	5,150
長期借入金の返済による支出	△748	△912
リース債務の返済による支出	△390	△354
自己株式の取得による支出	△6	△1,300
配当金の支払額	△653	△773
その他	11	15
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,562	6,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,801	4,926
現金及び現金同等物の期首残高	6,001	7,414
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	65	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,868	12,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。